

1冊の本に触れたとき、どれほどの人びとの存在と声に、わたしたちは出会っているのだろう。



2025年 男女共同参画センター横浜／横浜南／横浜北  
情報ライブラリ ブックフェア

## 本がひらく、ともに暮らす世界の扉 展

選書協力

電燈（横浜市神奈川区）

エトセトラBOOKSHOP（東京都世田谷区）

本と喫茶 サッフォー（茨城県つくば市）

シスターフッド書店 Kanin（京都市左京区）

## ごあいさつ

真に未来に向かって開かれているためには、  
具体的な現実にも根ざした想像力を持たなくてはならないと同時に、  
そうした現実を超える可能性を心に思い描くことが必要だ。

ベル・フックス（堀田碧訳）『フェミニズムはみんなのもの——情熱の政治学』  
エトセトラブックス、2020年、170頁。

横浜市婦人会館（男女共同参画センター横浜南の前身）の移転開館から約47年。  
横浜女性フォーラム（男女共同参画センター横浜の前身）の開館から約37年。  
横浜市男女共同参画センター3館の情報ライブラリでは、  
長きにわたって収集してきた資料を、70,000点近く所蔵しています。  
これらの資料は、現在まで生きてきたさまざまな境遇の人びと、  
特に女性たちのあゆみそのものを示しているのと同時に、  
いまを生きるわたしたち、そしてこれから生きる人びとが、  
自分自身や、身近な／遠くの他者の未来をひらいていくための手がかりを  
あちこちに含んでいるものでもあります。

今回のブックフェアでは、フェミニズム・ジェンダー・セクシュアリティに関する  
さまざまな書物を中心的に扱っている全国の書店にお声掛けをして、  
お店のご紹介と選書をお願いしました。  
その結果、横浜、東京、茨城、そして京都から、  
ご協力を賜ることができました。

それぞれの書店だけが持っている、背景や経験、視点、そして思いがある一方で、  
それぞれが共通して大事にしている、本、ひと、場所への思いがあることにも、  
コメントや選書を通じて、気づいていただけるのではないのでしょうか。  
そして、横浜市男女共同参画センター3館の情報ライブラリも、  
本、ひと、場所について、それぞれのお店につながる思いを持っています。

本には、ひととひと、そして場所と場所をつなげる力があります。  
このブックフェアを通じて、気になった書店へ足を運んでいただき  
さらに新しい本と、そしてその本にかかわる人びとと出会うことで、  
わたしたち自身の、そしてわたしたちをとり巻く世界の「現実を超える可能性」が  
さらにひらけていくことを願っています。

## 書店さまへの質問とお願い

### ●お店への質問について

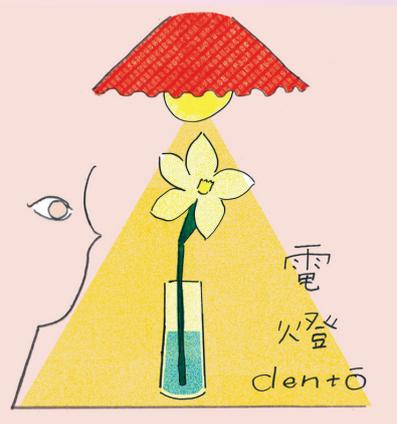
- 1 書店を立ち上げたきっかけと経緯を教えてください。
- 2 店名やロゴに込められている理念や思いを教えてください。
- 3 お店の特徴や特色を教えてください。
- 4 本を選ぶ際に大事にされていることを教えてください。
- 5 選書以外のお店づくりで大事にされていることを教えてください。
- 6 メッセージ、あるいは店主様としての本、ひと、世界に対する思いを教えてください。

### ●選書について

- ・おすすめしたい書籍を、6点ご教示ください。  
いわゆる「本」に限らず、ZINEや記録集といった幅広い形態から挙げていただけます。  
選書基準については、「いまの時代におすすめしたい本」「ずっと大事にしてきた本」「もっと幅広く読まれてほしい本」など、いかようでもかまいません。
- ・選んでいただいた書籍のうち、任意の3点について、その書籍への思いをご執筆ください。  
おすすめの理由、思い入れがある理由、印象に残っている箇所など、文章の内容はどのようなものでもかまいません。

# 電燈

(横浜市神奈川区)



所在地：神奈川県横浜市神奈川区六角橋2-13-6 N4  
(東急東横線白楽駅から徒歩8分ほど)

URL：<https://dento.stores.jp>

Instagram：@book.dento

営業時間：火・木曜日 20:00～22:00

金曜日 10:00～15:00

日曜日 12:00～17:00

(変動あり。Instagramでお知らせします)



## 1 書店を立ち上げたきっかけと経緯を教えてください。

数年前、必要に迫られて転職をしました。仕事を通してなにを差し出せるか、その仕事に取り組む自分と親しくできるかをいっさい考慮せず、効率よく稼げることだけを理由に選んだ職場です。ところが、仕事内容と、自分の内面や大事にしていることとの乖離が苦しくなって、やっぱり自分のところとはぐれない仕事、自分も他者もすこやかにあれる仕事をしたいと考えるようになりました。その結果、突き当たったのが、この本屋です。

## 2 店名やロゴに込められている理念や思いを教えてください。

尾形亀之助という詩人の「白（仮題）」という詩があります。みじかいので、全文を引用します。

あまり夜が更けると  
私は電燈を消しそびれてしまふ  
そして 机の上の水仙を見てゐることがある

この詩がとてもすきで、おまもりのように持ち歩いたり、必要なときにはころのなかで唱えたりして、ずいぶん助けてもらっています。本屋をひろくときにも、この詩と一緒にいてくれると心強いな、と思って、店名もロゴも、ここから借りました。

### 3 お店の特徴や特色を教えてください。

電燈は、本屋と図書室です。本を買うことも、読むこともできます。

また、「本屋と図書室」と名乗っているものの、  
かならずしも本とだけ過ごす場所とは考えていません。

手紙を書いたり、ひとと話したり、ひとりでいたり、  
編みものをしたり、なにもしなかったり、

各々が居心地よく、できるだけ安心して、一緒にいられる場を目指しています。

「本屋と図書室」をどこまで拡大解釈してゆけるのか、みんなで実験してゆきたいです。

### 4 本を選ぶ際に大事にされていることを教えてください。

店内の本はすべて、わたしのすきな本、大切な本、読みたい本、  
ひとと分かち合いたい本のいずれかです。

自分の責任で選書をする以上はそれが当然、と思うと同時に、わたし個人の価値基準、  
問題意識、内面／性質に添う本ばかり敷きつめてよいのか、つねに迷いと葛藤があります。  
答えは出ませんが、この悩みを手放さないこと、結論を急がずに自分のありかたを問いつづけて、  
微調整を試みることを大事にしようと思っています。

### 5 選書以外のお店づくりで大事にされていることを教えてください。

お店にやって来てくれたひとに、「自分のための本がある」「自分のための場所だ」  
と感じてもらえたらいいな、と思っています。

また、個人の希望として、みんなで生きてゆきたい、みたいな思いがあります。

その実現/実践のためにしていることを具体的に挙げるのは難しく、  
抽象的になってしまうのですが、

目のまえのひとを、いつでも、絶対に、大事にすることを決めています。

ひとりよがりでない、すこやかな「大事」を模索中です。

### 6 メッセージ、あるいは店主様としての 本、ひと、世界に対する思いを教えてください。

苦しいときや、さみしいとき、本屋や図書館で本に取り囲まれると、  
生への意欲のようなものを取り戻せます。

家の鍵を失くして動揺しているようなときも、本屋に飛びこめば、  
鍵は見つかっていないのに、なぜだかすこし落ち着きます。

わたしはさまざまな局面で、本と、本のある場に助けられてきました。  
本と、本のある場は、病院にも、避難所にも、おまもりにもなってくれます。  
彼らの力を借りながら、一緒に生き延びてゆきたいです。

## 高島鈴『布団の中から蜂起せよ』

（人文書院）【A23フ】（センター横浜南）

この本を読むことは、わたしを救済することだった。

ここで開示され、思索される問題と苦しみは、まさにわたしのもので、そしてきっと、ほかの多くの読者のものでもある。

著者は、それを克服した者としてではなく、今まさに渦中に身を置く者として、血のにじむような切実さで、渾身の力をこめて書いている。

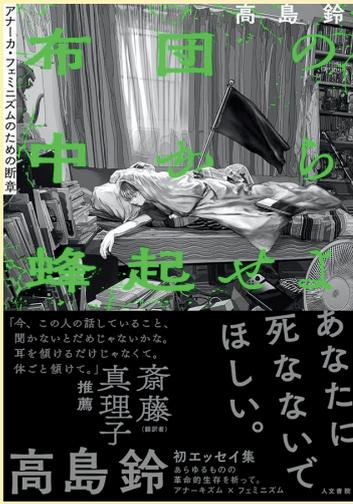
だからこの本には、苦しみを根本的に絶つような、実践的な方法は記されていない。

分かりやすい答えも明示されていない。

だけど、はじまりからおしまいで、一切の手抜きをしない本気の文章に、わたしは助けられた。

高島鈴のことばには、嘘がない。明晰で、鋭く、燃えている。

生き延びる道を模索するために必要な力を、掻きたててくれる。



## 反トランス差別ブックレット編集部（青本柚紀、高島鈴、水上文）編

『われらはすでに共にある 反トランス差別ブックレット』

（現代書館）【C11ワ】（センター横浜）

シス女性として、痛みとともに生きてきた。自分は女性だから、被抑圧者だと思っていた。

もちろん、そうした側面もある。でも、シスであること自体が特権だとは、

ここで切実に突き付けられるまで、考えもしなかった。

シスのみを想定する社会に生き、シスが耕したことばで思考するわたしは、トランスの人々が「すでに共にある」ことを、本当には理解していなかった。

彼らの痛みにも、自分がその一因を担っていることにも、思いを馳せなかった。

誰ひとり透明化せず、排除しない社会で一緒に生きたい。

他者も自分も、属性や役割に固定化せず、多面的で、複雑な存在として見つめたい。

そのために必要な最低限度の自覚と自省を、この本は助けてくれる。



## 松村圭一郎『はみだしの人類学』

（NHK出版）【A289ハ】（センター横浜）

他者とのあいだに断絶や、理解しがたさを感じる時、この本を読みたい。「わたし」と「かれら」を隔てるものはいったい何で、どこからやって来たのか。

この本は、人類学という観点から、その問いに真摯に答えてくれる。

問いはやがて、「わたし」という存在や、生きかたについてまで展開してゆく。

「わたし」のことも、「かれら」のことも単純化せず、

矛盾や相違を抱え、影響を及ぼしあいながら、

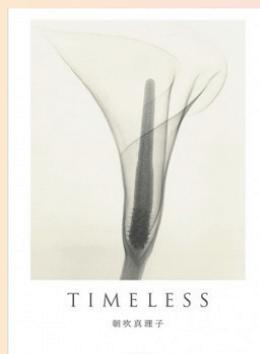
ともに、すこやかにあるための手がかりを、幾重にも受け取ることができる。

ここで語られているような視点を自分のものにして、

他者と向き合い、関わってみたい。読み終えてからずっと、わくわくしている。



うみ『うみかじ——  
「辺野古」から・への  
風をとどけるフリーペーパーZINE』  
【A331ウ/ZINE】（セ横）



朝吹真理子『TIMELESS』  
（新潮社）【ア】（セ横）



平岡直子『Ladies and』  
（左右社）【D2412レ】（セ横）

# エトセトラブックス BOOKSHOP (東京都世田谷区)



所在地：東京都世田谷区代田 4-10-18  
ダイタビル1F

URL：<https://etcbooks.co.jp/bookshop/>

X (旧Twitter)：@etc\_bookshop

Instagram：@etc.books\_bookshop

営業時間：木・金・土曜日 12:00～20:00

(他の曜日に開店できた場合はSNSで告知します)

\*変更ある場合は、instagramとTwitterでお知らせします。



## 1 書店を立ち上げたきっかけと経緯を教えてください。

フェミニズム専門の出版社として2018年に本を作り始めたとき、すでに書店をつくりたいという構想がありました。多くの先輩フェミニストの運動があったからこそ、今の私たちがいる。その連なりが見えてくるような、深く広いフェミニズムの豊かな言葉を集め、向き合える場をつくりたかったのです。コロナ禍で女性やマイノリティの置かれる状況が悪化する中、すぐに動かなければと準備を始め、2021年1月にオープンしました。

## 2 店名やロゴに込められている理念や思いを教えてください。

ジュディス・バトラーの著書『ジェンダー・トラブル』の一節「無限のエトセトラ」から、作家の松田青子さんが名付けてくれました。「これまで『その他』とされてきた無限の女性たち、フェミニストたちの声を届ける」という思いを込めています。ロゴはデザイナーの福岡南央子さんがデザインしてくれました。6人のそれぞれに違った横顔に、社名の意味を重ねています。

### 3 お店の特徴や特色を教えてください。

フェミニズム専門書店といっても、ジャンルはさまざまです。社会、生活を取り巻くあらゆるテーマで区分けしていて、棚には新刊として流通している本だけでなく、古書も並べています。詩や小説も多く、充実したラインナップに驚かれることと思います。エンパワメントされるファッション雑貨なども扱っています。不定期で読書会や、トークイベントも開催しています。また、ヤングフェミニスト基金として、いただいた寄付を使い、若い方が書籍を割引で購入できるようにしています。学生と10代のフェミニストの方は、ぜひ利用してほしいです。

### 4 本を選ぶ際に大事にされていることを教えてください。

私たちが、「これはフェミニストのための本だ」と思えるものを選んでいきます。

### 5 選書以外のお店づくりで大事にされていることを教えてください。

私自身、まだまだ視野が狭かったり、差別構造の中において気づけていないことがあったりします。仲間と励まし合いながら、自分の抱えているものと向き合い、差別や暴力を乗り越えていこうと日々つとめることです。

### 6 メッセージ、あるいは店主様としての本、ひと、世界に対する思いを教えてください。

フェミニストの言葉に出会ったことがありますか？  
どこで出会いましたか？  
どんな印象を持ちましたか？

SNSで目にしただけだったら、もったいないです。  
ぜひ、本を通してフェミニストの言葉に出会ってください。



権仁淑 (著)、中野宣子 (訳)  
『母から娘へ——ジェンダーの話しよう』  
(梨の木舎)【A22ジ】(センター横浜)

学校や社会でジェンダーの問題に直面している10代の娘に語りかける、という形で、アメリカや韓国で女性学の教鞭をとるコン・インスクさんが書いたフェミニズム入門書。誰かに大切なことを本気で伝えるとき、伝える側の苦悩や矛盾にも目を向けざるを得なくなる。そんな母親の葛藤までも会話の中に織り込まれているから、こちらも真剣に読み進められます。次世代の人間に対する深い愛情を感じつつ、日本の植民地支配が韓国のジェンダー規範に与えた影響についても考えられる本です。



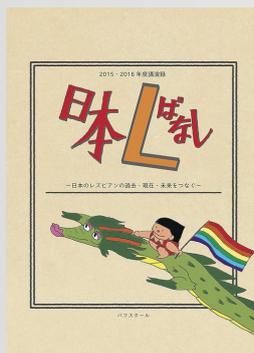
尹錫男 (画)、金伊京 (著)、宋連玉・金美恵 (訳)  
『帝国主義と闘った14人の朝鮮フェミニスト——独立運動を描きなおす』  
(花束書房)【A312テ】(センター横浜)

韓国のフェミニスト画家ユン・ソクナムによる14の肖像画に、作家キム・イギョンがひとりひとりに全く違うスタイルの文章(手紙、独白、インタビューetc)を添えた本。描かれているのはすべて、日本の植民地支配に抵抗した女性の姿です。2人のフェミニストがここに命を吹き込み、それが2人のフェミニストによって日本語に訳され、フェミニストが刊行しました。ここに届くまで、どんな熱い思いと行動の連鎖があったらうか！ぐいぐい読み進めながらも、読み手は自分の立つ場所を、支配と地続きの現在を、今までとは違った角度から見つめることになるかもしれません。



榛野なな恵『卒業式』  
(集英社)【HAM】(センター横浜)

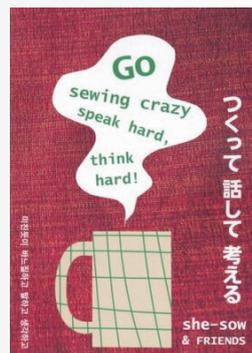
少女漫画家として長いキャリアを持つ著者の94年の作品。エトセトラブックスでは、立ち上げ当初から紹介していた思い入れのある本です。ある中学校。地元の権力者でもある教師が、生徒に性加害をしていることが公然の秘密となっている。この事実を明るみに出すために、清良(せら)は優秀な成績を維持。一度は性暴力に立ち向かうも嫌がらせて力を失い街を去った元・保健教師、保健教師に被害を話した生徒たち、「事なかれ主義」の男性教師、週刊誌の女性記者と連帯し、卒業式の日に告発する。鮮やかな一編です。他の短編にもフェミニズムが通底しています。紙の本は絶版ですが、Kindleで読めます。



パフスクール『日本しばなし～日本のレズビアン史の過去・現在・未来をつなぐ〜』  
【C11ニ/グループ・団体】(セ横)



上原理乃・荒井聡子・鶴峰まや子  
『りのさとふたりぐらし vol.2』  
【B11リ/ZINE】(セ横)



she-sow『つくって話して考える』  
【A23ツ/ZINE】(セ横)

# 本と喫茶 サッフオー (茨城県つくば市)



所在地：茨城県つくば市天久保1丁目15番地11  
アイアイビル104号室

(つくばエクスプレスつくば駅から徒歩17分)

URL：<https://bookcafe-sappho.com/>

X (旧Twitter)：@bookcafe\_sappho

Instagram：@bookcafe\_\_sappho

営業時間：HPにて開店カレンダーをご確認ください。



## 1 書店を立ち上げたきっかけと経緯を教えてください。

都内にある書店、出版社勤務経験を経て、都心から離れた場所にもフェミニズムやジェンダー関連書を揃えた書店が必要だと感じ、周縁化された人たちが安心してつながれるリアルな場所が必要だと考えたから。

## 2 店名やロゴに込められている理念や思いを教えてください。

私がフェミニズムに興味を持つきっかけとなった映画作家アニエス・ヴァルダがつくった映画会社のロゴが猫だったため、自分の店も猫をモチーフにしたロゴにしたいと考えました。「サッフオー」はフェミニスト作家ヴァージニア・ウルフが、古代ギリシャの女性詩人にちなんで飼猫につけた名前です。

### 3 お店の特徴や特色を教えてください。

都心から離れた大型書店では見つけにくいジャンル（主にフェミニズム／ジェンダー／福祉）を中心に、絵本から学術書まで幅広く選書しています。

新刊、自主出版、ZINEの他に、雑貨も少し取り扱う街の小さな本屋です。

サッフォーが北関東のセーフスペースになることを願い、来店した人たちが交流できる喫茶スペースも併設しているので、ひとりでも、グループでも気軽に利用できます。

新刊イベント、おしゃべり会、クィアパーティーなどの交流イベントを不定期に開催しています。

### 4 本を選ぶ際に大事にされていることを教えてください。

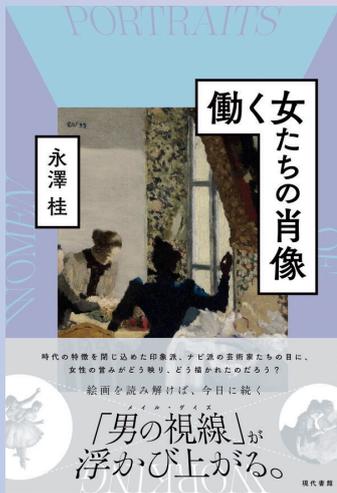
生きづらさを感じている人、日常で抑圧を感じている人、孤立している人たちが安心して選書できる棚作りを心がけています。

### 5 選書以外のお店づくりで大事にされていることを教えてください。

- ・来店者のジェンダー・アイデンティティを尊重する（見た目で性別を決めるような発言を避けるなど）。
- ・障害者に対する合理的配慮の提供努力。
- ・イベント開催の場合、登壇者、お客様、ともに安心して参加できるための配慮を心がけています。
- ・喫茶にはプラントベースメニューを取り入れ、ベジタリアン、ヴィーガンの方にも利用してもらえるようにしています。

### 6 メッセージ、あるいは店主様としての本、ひと、世界に対する思いを教えてください。

本は生き延びるための知恵や手がかりになり、世界をよくしてくれるものだと信じて、日々営業しています。



## 永澤桂『働く女たちの肖像』 (現代書館)【A23ハ】(センター横浜北)

世界的に有名な絵画作品は近代まで男性画家によるものが多く、そのまなざしは現代のジェンダーロールにもつながっています。SNSでCMや広告における女性表象が「炎上」することがよくありますが、作り手の意図を読み取り、作品を批判的に見る訓練は、ジェンダーロールからの解放につながるのではないのでしょうか。本書はその一助となる一冊です。

## 小林敦子『職場で使えるジェンダー・ハラスメント対策ブック：アンコンシャス・バイアスに斬り込む戦略的研修プログラム』 (現代書館)【B23シ】(センター横浜北)

アンコンシャス・バイアスは、自分では意識していないが、心の中に潜む歪みや偏りです。もともと心理学の領域で研究され、米国を中心に発展してきた概念で、心理学的研究では、潜在的バイアス、潜在的ステレオタイプと呼ばれます。ところが近年、男女共同参画局が本来とは違った意味で普及させ、メディアやコンサルタントによって「気づいてなくそう」といった、個人の努力ばかりを促すような誤用が広がっています。ジェンダー・ハラスメント(性役割に関する嫌がらせ)のない社会にするためには、アンコンシャス・バイアスの正しい理解が必須です。



## 松波めぐみ『「社会モデルで考える」ためのレッスン』 (生活書院)【A353シ】(センター横浜)

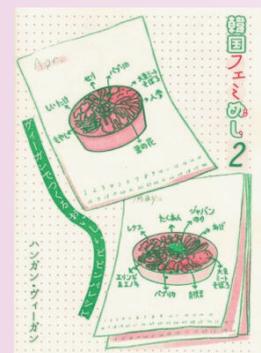
「社会モデル」とは、障害は個人の心身機能によるという考え(「医学モデル」)ではなく、社会側に障害(バリア)があり、それを取り除いていこうという考え方です。この本は学術書とは違って、介助経験がありフェミニストでもある松波さんがご自分の経験を通してエッセイスタイルで綴られているので、障害者の生きづらい構造がよく理解でき、性的マイノリティの文脈にも応用できる内容です。



シモーヌ・ド・ボーヴォワール(著)  
『第二の性』を原文で読み直す会(訳)  
『決定版 第二の性』(全3巻)  
(河出書房新社)【A22ダ】(セ南)



マイア・コベイブ(著)、小林美香(訳)  
『ジェンダー・クィア：  
私として生きてきた日々』  
(サウザンブックス社)【C11ジ】(セ南)



ハンガン・ヴィーガン  
『韓国フェミめし2：ヴィーガンでつくる  
おいしいビビンパレシピ』  
【D143カ/ZINE】(セ横)

# シスターフッド書店 Kanin (京都市左京区)



所在地：京都市左京区北白川堂ノ前町1  
デュ北白川105

URL：<https://kanin.base.shop>

X (旧Twitter)：@Kaninsisterhood

Instagram：@kaninbooks

営業時間：月・木・金曜日 12:00～17:00  
水曜日 12:00～16:30  
土・日曜日 12:00～18:00  
(火曜定休)



## 1 書店を立ち上げたきっかけと 経緯を教えてください。

「本屋やる？」「やろっか！」  
というやりとりから、  
たまたま京都に流れ着いた  
幼なじみの女ふたりで始めました。

## 2 店名やロゴに込められている 理念や思いを教えてください。

「シスターフッド」は店主ふたりの関係であり、  
ここに集う人たちとゆるくつながりたいという思いから。  
Kaninはデンマーク語で“うさぎ”。  
店主たちが卯年うまれであることと、  
開店した年も卯年だったことから付けました。  
ロゴは奈良で活動するMitsukiさんによる切り絵です。

### 3 お店の特徴や特色を教えてください。

小さなカフェスペースを併設しており、アルコールやソフトドリンク、デンマークのオープンサンド「スモーブロー」や本場レシピのティラミスなどを提供しています。また、月に2回ほど読書会やおしゃべり会を行っています。

### 4 本を選ぶ際に大事にされていることを教えてください。

フェミニズムやジェンダーに関する本を中心に、女性作家の本や店主たちの愛する本、読みたい本を古本新本問わず扱っています。あらゆる差別と戦争、虐殺に反対しています。

### 5 選書以外のお店づくりで大事にされていることを教えてください。

女性が一人でも気兼ねなくお酒やコーヒーなどを飲みながら読書できるブックカフェでありたいと思っています。

### 6 メッセージ、あるいは店主様としての本、ひと、世界に対する思いを教えてください。

関西にもフェミニズムに関する書店があるということを知っていただければ幸いです。関西へお越しの際はぜひお立ち寄りください。お待ちしております。

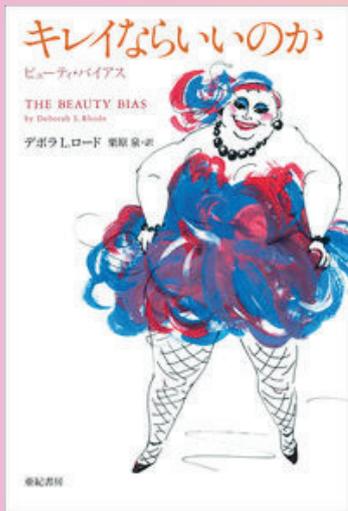
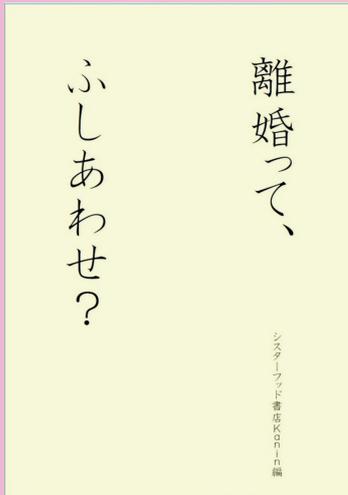


## 中西豊子『女の本屋の物語』 (ウィメンズブックストアゆう：ドメス出版)【A23オ】(センター横浜)

日本初「女性問題」専門書店は、京都にあった。  
80年代の京都で「ウィメンズブックストア松香堂」を立ち上げた中西豊子さんという一人の女性の半生と、その時代を描いた貴重な記録。  
まだ「フェミニズム」という言葉も広く知られていなかった時代に、女性のための書店であるだけでなく、出版やイベントの企画、困窮女性の居場所となるなど、活動は多岐に亘りました。  
その志を少しでも引き継ぎたいと、シスターフッド書店Kanin開店への思いを後押ししてくれた大切な本です。

## シスターフッド書店Kanin (編) 『離婚って、ふしあわせ?』 【B17リ】(センター横浜)

離婚当事者、別々に生きていく選択をした両親を持つ人、親が再婚を決めた子、未婚の人……  
さまざまな背景をもつ13人が「離婚」について語ったエッセイアンソロジー。  
「3人に1人がしている」と言われる離婚だが、いまだに社会におけるスティグマは根強い。  
「離婚した女はそのことに触れられたくないはず。なぜならふしあわせだから」という無言のメッセージに、たまには疑問を投げかけてみたいと制作した、シスターフッド書店Kanin初めてのZINEです。



## デボラ・L・ロード (著)、栗原泉 (訳) 『キレイならいいのか——ビューティ・バイアス』 (亜紀書房)【A22キ】(センター横浜)

著者であり、スタンフォード大学法科大学院の研究者デボラ・L・ロードが、「女性のジェンダー研究所」所長に就任するやいなや広報担当者から言われたのは「あなたの見栄えが問題になっている」。  
世間にはびこるルッキズムの問題とは？ また今後どうあるべきなのか？ を説いた本。  
メディアが女性を取り上げる際「美しすぎる」を枕詞にしたり、TV映えする政治家ばかりがもてはやされる風潮に異を唱えたいこと必須です。  
見た目にかかわらず、すべての人が平等に権利を持つべきであるということを再確認できます。



高井ゆと里・周司あきら  
『トランスジェンダーQ&A——素朴な疑問が浮かんだら』  
(青弓社)【C11ト】(セ横)



前田正子・安藤道人  
『母の壁——子育てを追いつめる重荷の正体』  
(岩波書店)【B341ハ】(セ横)



斉藤章佳・にのみやさをり  
『性暴力の加害者となった君よ、すぐに許されると思うなかれ』  
(ブックマン社)【C13セ】(セ横)

# 横浜市男女共同参画センター 情報ライブラリ (横浜市戸塚区・南区・青葉区)



## 男女共同参画センター横浜（フォーラム）

所在地：横浜市戸塚区上倉田町435-1  
URL：<https://www.women.city.yokohama.jp/y/>  
X (旧Twitter)：@forum\_totsuka  
Instagram：@yokohama\_genderequality (3館共通)  
開館時間：月～土曜日 9:00～21:00  
日曜日・祝日 9:00～17:00  
休館日：毎月第4木曜日



## 男女共同参画センター横浜南（フォーラム南太田）

所在地：横浜市南区南太田1-7-20  
URL：<https://www.women.city.yokohama.jp/m/>  
X (旧Twitter)：@girls\_support  
Instagram：@yokohama\_genderequality (3館共通)  
開館時間：9:00～21:00  
休館日：毎月第3月曜日



## 男女共同参画センター横浜北 (アートフォーラムあざみ野)

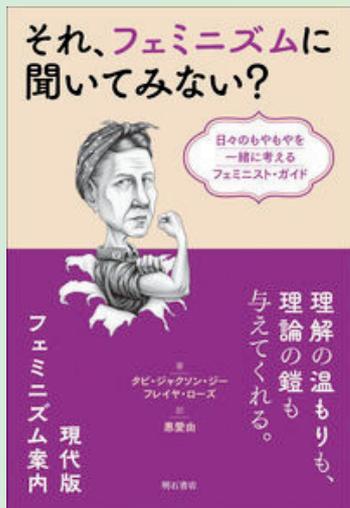
所在地：横浜市青葉区あざみ野南1-17-3  
URL：<https://www.women.city.yokohama.jp/a/>  
X (旧Twitter)：@artforumazamino  
Instagram：@yokohama\_genderequality (3館共通)  
開館時間：月～土曜日 9:00～21:00  
日曜日・祝日 9:00～17:00  
休館日：毎月第4月曜日

横浜市男女共同参画センターの情報ライブラリでは、  
毎月1～2回、「新着図書ピックアップ」の制作・配架を行い、  
その月に新たに所蔵した資料をご案内しています。  
ここでは、2024年度に制作した「新着図書ピックアップ」から、  
6冊を選んでご紹介します。



高橋歩唯・依田真由美  
『母親になって後悔してる、といえたなら  
——語りはじめた日本の女性たち』  
(新潮社)【B34ハ】(センター横浜)

8人の日本の母親のリアルな体験談を通じて、理想と現実のギャップ、自己喪失などの複雑な感情を描いています。「女性だから」という理由で社会から押し付けられてきた役割への疑問や、現代日本における個人と社会の関係、その背景にある社会構造について考察。日本の母親に起きている現実を知り、自らの行動を選択するための一助になる内容です。



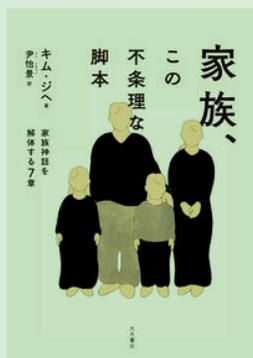
タビ・ジャクソン・ジー、フレイヤ・ローズ (著)、恵愛由 (訳)  
『それ、フェミニズムに聞いてみない?』  
(明石書店)【A23ソ】(センター横浜南)

現代女性が感じている日常のモヤモヤした悩みを、フェミニストの視点で考えていく内容です。政治と権力に関することから始まり、恋愛と人間関係、結婚と家庭生活、仕事と賃金に関することなど幅広く取り上げています。自分の考え方を見つめなおし、ジェンダーの問題や男女平等とは何か、考えるきっかけになる一冊です。



大竹穂  
『私はネガティブなまま幸せになることにした。』  
(三笠書房)【B11ワ】(センター横浜南)

不安や悲しみ、憂いがあるのは当たり前、と著者は言います。この本では、哲学者の言葉や物語を紐解きながら、「ネガティブなまま幸せになる」コツを伝えています。現代社会に生きづらさを感じている人や、ポジティブを目指すことに疲れた人にとっての、本当の幸せや本当の豊かさについて、考えるきっかけになる一冊です。



キム・ジヘ (著)、尹怡景 (訳)  
『家族、この不条理な脚注  
——家族神話を解体する7章』  
(大月書店)【B32カ】(セ南)



飯田育浩『日本の女性・ジェンダーの  
いちばんわかりやすい歴史の教科書』  
(グラフィック社)【A22二】(セ横)



山下エミリ  
『お母さんには言えない 子どもの  
「本当は欲しい」がわかる本』  
(青春出版社)【B341コ】(セ横)

## 選書一覧

### 電燈（横浜市神奈川区）

書名	著者等	出版社	配架場所 請求記号
布団の中から蜂起せよ	高島鈴	人文書院	センター横浜南 A23フ
われらはすでに共にある ——反トランス差別ブックレット	反トランス差別ブックレット編集部 (青本柚紀、高島鈴、水上文)	現代書館	センター横浜 C11ワ
はみだしの人類学	松村圭一郎	NHK出版	センター横浜 A289ハ
うみかじ——「辺野古」から・への 風をとどけるフリーペーパーZINE	うみ	(ZINE)	センター横浜 A331ウ/ZINE
TIMELESS	朝吹真理子	新潮社	センター横浜 ア
Ladies and	平岡直子	左右社	センター横浜 D2412レ

### エトセトラブックスBOOKSHOP（東京都世田谷区）

書名	著者等	出版社	配架場所 請求記号
母から娘へ ——ジェンダーの話をしよう	権仁淑（著）、中野宣子（訳）	梨の木舎	センター横浜 A22ハ
帝国主義と闘った14人の朝鮮フェミニ スト——独立運動を描きなおす	尹錫男（画）、金伊京（著）、 宋連玉・金美恵（訳）	花束書房	センター横浜 A312テ
卒業式	榛野なな恵	集英社	センター横浜 ハM
日本Lばなし	パフスクール	(ZINE)	センター横浜 C11ニ/グループ・団 体
りのさとふたりぐらしvol.2	上原理乃・荒井聡子・鶴峰まや子	(ZINE)	センター横浜 B11リ/ZINE
つくって 話して 考える	she-sow	(ZINE)	センター横浜 A23ツ/ZINE

## 本と喫茶 サッフォー（茨城県つくば市）

書名	著者等	出版社	配架場所 請求記号
働く女たちの肖像	永澤桂	現代書館	センター横浜北 A23ハ
職場で使えるジェンダー・ハラスメント対策ブック：アンコンシャス・バイアスに斬り込む戦略的研修プログラム	小林敦子	現代書館	センター横浜北 B23シ
「社会モデルで考える」ためのレッスン	松波めぐみ	生活書院	センター横浜 A353シ
決定版 第二の性（全3巻）	シモーヌ・ド・ボーヴォワール（著）、『第二の性』を原文で読み直す会（訳）	河出書房 新社	センター横浜 A22ダ
ジェンダー・クィア：私として生きてきた日々	マイア・コペイブ（著）、 小林美香（訳）	サウザン ブックス社	センター横浜南 C11ジ
韓国フェミめし2：ヴィーガンでつくるおいしいビビンパレシビ	ハンガン・ヴィーガン	(ZINE)	センター横浜 D143カ/ZINE

## シスターフッド書店Kanin（京都市左京区）

書名	著者等	出版社	配架場所 請求記号
女の本屋の物語	中西豊子	ウィメンズ ブックストア ゆう ドメス出版	センター横浜 A23オ
離婚って、ふしあわせ？	シスターフッド書店（編）	(ZINE)	センター横浜 B17リ
キレイならいいのかービューティ・バイアス	デボラ・L・ロード（著）、 栗原泉（訳）	亜紀書房	センター横浜 A22キ
トランスジェンダーQ&Aー 素朴な疑問が浮かんだら	高井ゆと里・周司あきら	青弓社	センター横浜 C11ト
母の壁ー子育てを追いつめる重荷の正体	前田正子・安藤道人	岩波書店	センター横浜 B341ハ
性暴力の加害者となった君よ、 すぐに許されると思うなかれ	斉藤章佳・にのみやさをり	ブックマン 社	センター横浜 C13セ

## 横浜市男女共同参画センター 情報ライブラリ

書名	著者等	出版社	配架場所 請求記号
母親になって後悔してる、といえたなら	高橋歩唯・依田真由美	新潮社	センター横浜 A23オ
それ、フェミニズムに聞いてみない？	タビ・ジャクソン・ジー、フレイヤ・ローズ（著）、恵愛由（訳）	明石書店	センター横浜 B17リ
私はネガティブなままに幸せになることにした。	大竹稽	三笠書房	センター横浜 A22キ
家族、この不条理な脚本ー家族神話を解体する7章	キム・ジヘ（著）、尹怡景（訳）	青弓社	センター横浜 C11ト
日本の女性・ジェンダーのいちばんわかりやすい歴史の教科書	飯田育浩	岩波書店	センター横浜 B341ハ
お母さんには言えない 子どもの「本当は欲しい」がわかる本	山下エミリ	青春 出版社	センター横浜 C13セ